学校番号	1202

令和３年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰで習得した基礎的な技法や内容を発展させ、より複雑な表現方法を使って自分らしい世界を追求していくことを目標とします。美術Ⅰでは用いなかった素材や道具も使用し、新しい表現技法にも挑戦していきます。
・自分の作品について制作意図を他者に伝えること、他者の作品についても理解を深め、そのよさを共有し、自分の制作に生かすことができるように「鑑賞」の時間も大切にします。

2　学習の到達目標

・美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	出席状況 制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 提出作品	制作途中の作品 提出作品	ワークシート 完成レポート 鑑賞活動やグループワークでの発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション・消しゴムデッ	【絵画】【鑑賞】 ・オリエンテーション 「美術Ⅱ」の年間の学習イメージをつかむ。 ・「消しゴムデッサン」 鉛筆で画用紙を真っ黒に塗り、下地を作る。音楽からイメージを深め、練り消しで描いていく。 ・完成プリント	○ ○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。新しい表現方法に興味を持ち、積極的に取り組んでいる。 b:音楽からイメージを深め、抽象的に自分の想像する世界を表現できる。 c:鉛筆の特性を生かして、タッチや濃淡で多彩な表現ができる。 d:自分の作品のよさと美しさを感じ取り、他者に伝えられる。	・出席状況 ・活動の様子 ・ワークシート ・提出作品 ・完成レポート
	コラージュ	【絵画】【鑑賞】 ・技法について理解し、伝えたいイメージを明確にする。 ・素材集め ・コラージュする 伝えたいイメージに基づき、構成と配置をよく検討する。 ・完成プリント、展示 ・相互鑑賞	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	a:コラージュによる表現方法に興味を持ち、その技法を使って自分の世界を追求しようとしている。 b:伝えたいイメージとメッセージを明確に持ち、そこからイメージを深め、構成など工夫し、自分らしい表現を自由に追求している。 c:必要な素材を精選し、効果的に配置している。仕上がりが美しい。 d:作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、共感している。自分の作品についても考えや想いを伝えることができる。	・出席状況 ・活動の様子 ・提出作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容 ・完成レポート
	本物そっくり？ギョッとペン	【彫刻立体】【鑑賞】 ・造形 モチーフをよく観察し、石粉粘土を使って造形する。ボールペンの芯を芯材とする。 ・着色、ニス塗り モチーフをよく観察し、アクリル絵の具で着色する。仕上げにニスを塗る。 ・完成レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:モチーフをよく観察し、形体や色彩について本物に迫るための表現の工夫と構想を練っている。 c:粘土の特性を理解し、表現に生かしている。道具を適切に使用している。絵の具を混色し、モチーフの持つ色彩に迫っている。 d:自分の作品の表現で工夫したところや成功しているところを説明でき、他者の作品のよさや表現の工夫を見つけることができる。	・出席状況 ・活動の様子 ・制作途中の作品 ・提出作品 ・完成レポート

2学期	鑑賞カードを使って	【鑑賞】 ・適当に引いた鑑賞カードをもとに、それぞれが作者や作品について調べ、ワークシートにまとめ、発表・紹介する。	○	○		○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作者の想いや作品について理解しようとしている。 b:自分の調べた作品についてわかりやすく、他者が興味をもって見られるような表現の工夫がワークシートになされている。 d:美術作品のよさや美しさ、表現の特徴、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、自分の作品に対する見方や感じ方、考え方を持つことができている。	・出席状況 ・活動の様子 ・ワークシート ・鑑賞活動の様子や発言内容
	植物クロッキー・葦ペンを使って	【絵画】【鑑賞】 ・線のワーク ①いろいろな音からイメージした線を葦ペンでひいてみる。 ②いろいろな言葉からイメージを深め、葦ペンで表現する。 ・本制作 目の前のモチーフをしっかり観察し、葦ペンでクロッキーをする。 ・展示・鑑賞 互いの作品を紹介しあい、他者の作品から作者の意図、創造的な表現の工夫などを理解し、感じ取る。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:表現することに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的、積極的に取り組もうとしている。 b:自分らしい表現は何かを考え、アイデアが練られている。線の表情や効果をイメージしながら、構想が練られている。 c:墨と混ぜる水の量の違いによって変化する線の効果を利用し、表現が多彩なものになっている。モチーフをよく観察し、葦ペンの持つ線の多様性を活かした作品となっている。 d:自分の作品のよいところ、成功したところを見つけることができる。他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の表現の工夫と効果を発見し、理解を深めている。	・出席状況 ・活動の様子 ・ワークシート ・制作途中の作品 ・完成作品 ・鑑賞活動の様子や発言内容
	自立する木工パズル	【デザイン】 【木工】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ 条件をふまえデザインを考える ・転写し、糸鋸で切断する。 ・紙やすりで整える ・着色、ニス塗り ・完成レポート ・相互鑑賞	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:使う人を想定し、素材の持つ制作上の制約や用途などをふまえつつ、デザインすることに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。計画的に工程の見通しを意識しながら、制作に臨んでいる。 b:使う人をイメージし、その人らしさや目的にあう美しさ、面白さを考えたデザイン、着色になっている。素材と技法のデザイン上の制約をふまえながら、自分らしい表現が追求できる。 c:木材の特性と用具の使い方を理解し、計画に基づいた制作となっている。道具を適切に使用している。 d:自分の制作意図や表現の工夫、よさについて、他者に説明できる。他者の作品の表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取っている。	・出席状況 ・活動の様子 ・アイデアスケッチ ・制作途中の作品 ・完成作品 ・完成レポート

3 学 期	自分マークを使った　ペーパーバッグ制作	【デザイン】【鑑賞】 「作品を持ち帰るマイバッグをつくろう Part.2」 ・アイデアスケッチ ワークシートを使って、自分のシンボルマークのデザインを各自で考える。 ・制作(ステンシル) 型紙シートを作る。 配色をよく検討し、ステンシルする。 ・発表と鑑賞	○ ○	○ ○	 ○	 ○	a:目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、制作や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。ステンシルの技法を理解し、主体的にデザインが考えられている。 b:目的と自分らしさを追求したデザインであり、表現の制約をふまえつつ独創的に構想に構想が練られている。 c:材料や用具の特性を理解し、表現のこだわりや意図に応じて、合理的に制作がすすめられている。 d:自分の作品について表現のこだわりを明確にし、他者に伝えられる。他者の作品の表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取っている。	・出席状況 ・活動の様子 ・アイデアスケッチ ・完成作品 ・完成レポート ・鑑賞活動の様子や発言内容

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。